

JLS 通信

～JLS（ジョブ・ライフサポーター）通信について～

このJLS通信では、3ヶ月に一度JLSの行ってきた活動や障害者の雇用に関わる情報などを掲載しています。今年度も継続して配信しますので、よろしくお願いします。

1. 障害者就労体験実習（※）の実施報告

※障害者就労体験実習

一般就労を希望する障害のある方を対象に、就労体験を通じて仕事との接点を持ち、働く姿勢を学ぶことで「就職」への第一歩を踏み出すきっかけ作りとなる場を企業からの協力を得て提供しています。

<実勝運輸有限会社（安佐南区伴西2-4-1）>

1974年創業以来、長年にわたる運送経験を生かし、お預かりした大切な荷物をいかに安全かつ確実に運ぶかを遵守され、お客様から高い信頼を得られている会社です。

今回の体験実習では、4日間、深川物流センターにて、商品（ベビー服）の値札シール貼り、袋詰め、箱詰め、検針作業などを体験させていただきました。



本人からのコメント

色々な作業を体験させてもらいました。商品の袋詰めは難しかったですが、優しく丁寧に教えていただきました。体力的に不安もあり、最初は腰の痛みもありましたが、慣れることで痛みも取れて、楽しく終わる事ができました。

企業からのコメント

仕事に対する意欲もあり、積極的に作業に取り組み、単純な作業も集中力が途切れることなくできました。作業の指示、指導に対する理解力はあるので、自信をもって新たな仕事にチャレンジしてください。

<お問い合わせ先>

【中・西・安佐南・安佐北・佐伯区エリア】
社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会
ジョブ・ライフサポーター（4名配置）
広島市西区打越町17番27号
育成会総合福祉センター内
TEL（082）537-1088
FAX（082）537-1090

【東・南・安芸区エリア】
社会福祉法人 つつじ
ジョブ・ライフサポーター（2名配置）
広島市東区若草町15番20号
広島東障害者就業・生活支援センター内
TEL（082）262-5100
FAX（082）262-5102

2. 企業向け交流会の報告

(※広島障害者就業・生活支援センターとの共催により実施)

2020年12月3日(木)、広島市総合福祉センターにて企業向け交流会を開催しました。2名の講師の方々にお越しいただき、障害者雇用に関する講演をいただきました。

○「障害者問題に学ぶ人材育成」

講師：有限会社 メタルワーク福山 代表取締役 大植 栄 様

福山地区の各特別支援学校より、実習の受入れを通じて定期的に雇用をされています。今までの雇用実績に加え、障害者雇用の現実を失敗談なども交えながら、受け入れ先企業の目線でお話していただきました。今年度も特別支援学校からの実習の受入れを実施され、来年度の新卒採用に繋がっています。



<参加された方の感想>

- ・障害者雇用を社員に分かってもらうこと、また全員で取り組むことの大切さがわかった。
- ・障害者雇用を通し、障害のある方のみでなく企業にも雇用以上の効果、恩恵があることを知ることができた。
- ・特性に応じて適材適所を考えるのは障害の有無に関わらず必要なことだと改めて勉強できた。

○「なぜ、中小企業家同友会は障害者雇用に取り組むのか」

講師：広島県中小企業家同友会 事務局長 源田 敏彦 様

個々の個性や特性が尊重され、それにより最大限の能力が発揮できる企業を作ろうという思いから、中小企業家同友会では「人を生かす経営」という理念を掲げていらっしゃいます。「障害を知ることから始めよう」を合言葉に、障害者問題委員会では福山地区の特別支援学校の先生と会員企業をつなげるために見学バスツアーを実施されており、雇用にもつながっているというお話をしていただきました。



<参加された方の感想>

- ・「知らない」ことを「知る」、中小企業でも大企業でも障害者(多様性)を受け入れるために重要であると感じた。
- ・中小企業家同友会は経済団体で唯一障害者に関する委員会があり、考える場がある。これは今後も引き継いでもらいたい。
- ・様々な支援機関を活用することも必要だが、自分たちが解決できるように学ぶことがもっと必要だと思った。